

Hartke®



LOOP

HL77

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。
3. 本体を雨中や湿度の高い場所、または水の近くで使用しないでください。
4. 本体を水または液体の中にいれないでください。
5. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
8. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店に連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
9. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
10. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時は電源プラグを抜いてください。
11. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
12. 本製品を廃棄するときは、地方自治体のルールに従ってください。
13. 設置について疑問が生じたときは、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

最新の電子技術と素材を使用した製品のため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理は本製品の代理店にて行ってください。

注意: 本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

目次

安全上の重要事項	2
メンテナンスと修理	2
製品概要	4
詳細仕様	4
各部の名称	5
操作手順	7
リズムトラック	11
コンピュータとの接続	12
電源	13

製品概要

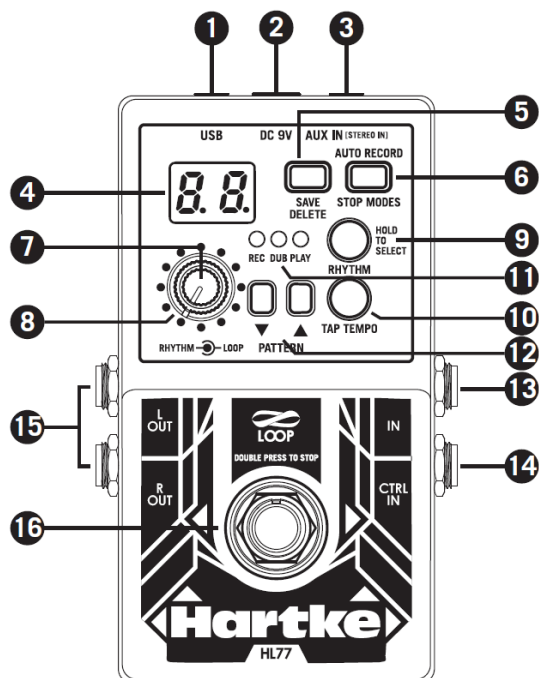
本製品は最大 99 フレーズ、6 時間もの Rec が可能なルーパーペダルです。

- 十分なメモリー容量
- シンプルなユーザーインターフェース
- コンパクトで丈夫な設計
- 無制限オーバーダビング
- 3/4 拍子、4/4 拍子が選択できる 20 チャンネル・リズムトラック
- 99 フレーズ、6 時間、録音可能
- オーディオデータのインポート、エクスポート用インターフェース (USB 端子)
- 入力
 - 楽器用 (フォン端子) x 1
 - コントロール用 (フォン端子) x 1
 - 外部音源用 (ステレオミニ端子) x 1
- 出力 (フォン端子) x 2

詳細仕様

電源	電池 9V DC、電源アダプター9V DC
使用電流	75mA、9V
A/D コンバーター	20bit
シグナルプロセッサー	16bit
サンプル周波数	44.1kHz
周波数特性	10Hz - 20kHz
入力インピーダンス	1M Ω
AUX IN インピーダンス	33k Ω
出力インピーダンス	10k Ω
ディスプレイ	LED
寸法	121mm x 64mm x 48mm
質量	265g

各部の名称



1. USB

外部コンピュータ接続用 USB 端子。オーディオデータのインポート、バックアップに使用します。

2. DC 電源

9V DC 300mA 電源アダプターを使用します。

3. AUX IN

3.5mm ステレオミニ端子。外部オーディオソースを接続します。

4. LED ディスプレイ

フレーズ、リズム番号他、各種設定情報を表示します。

5. SAVE/DELETE

メモリーに保存したフレーズを保存/消去します。

6. AUTO RECORD/STOP MODES

入力信号による自動録音開始設定/再生を停止します。

7. RHYTHM

リズムトラックのレベルを調整します。

8. LOOP

ループサウンドのレベルを調整します。

9. RHYTHM

リズムトラックの ON/OFF、リズムパターンを選択します。

10. TAP TEMPO

このボタンをタップしてリズムのテンポをセットします。テンポを変えると再生中にフレーズの再生スピードが変わります。

11. REC/DUB/PLAY

録音、オーバーダビング、再生の各ステータスを表します。

REC	録音中のとき LED(赤)が点灯
DUB	オーバーダビング中のとき LED(オレンジ)が点灯
PLAY	再生中、またはオーバーダビング中のとき LED(緑)が点灯

12. 「PATTERN」 ▲▼

メモリー番号、リズムパターン、設定オプションを選択します

13. IN (フォン端子)

楽器、または外部エフェクターを接続します。

14. CTRL IN (フォン端子)

外部ペダルを接続して再生停止、フレーズをクリア、メモリー番号を変更、タップテンポを変更できます。

15. OUT L/OUT R (フォン端子)

ギターアンプやモニタースピーカーに接続します。OUT L はモノラルシステムに接続してください。AUX IN にステレオ信号を接続して、OUT L を使用すると出力はモノラルになります。

16. フットスイッチ

録音、オーバーダビング、停止、再生をコントロールします。
さらに、録音を無効、やり直し、クリアすることができます。

操作手順

メモリー番号選択

1. 「PATTERN」▲▼ボタンを使用して 99 種類のメモリー番号から選択することができます。
2. ディスプレイに現在のメモリー番号が表示されます。
右下に「.」が表示されている場合、この番号のメモリーにデータがあることを示しています。「.」が表示されていない場合、この番号のメモリーに新しいループを作ることができます。
3. 再生中に他のメモリー番号を選択すると、その番号が表示され点滅します。再生中のフレーズが終了すると、点滅している番号のフレーズが再生されます。
※フレーズを変えるとき、フレーズ間にブランクが生じることはありません。曲の完全なバックトラックとしてレコーディングに使用できます。



フレーズの録音

1. フットスイッチを押してループの録音を開始します。
2. REC（赤）が点灯します。

自動録音モード

入力信号を検知したら自動的に録音が始まるモードです。自動録音モードに設定する手順を次に示します。

1. ループが記録されていないメモリー番号を選択します。
2. 「STOP MODES」ボタンを 2 秒間押すと“**rr**”が表示され点滅します。
3. 「STOP MODES」ボタンをもう一度押すと点滅が止まり“**rr**”が表示され自動録音モードになります。
4. フットスイッチを押すと録音スタンバイモードになり、REC（赤）が点滅します。
5. AUX IN または IN に信号が入ってきたとき、録音が自動的に開始されます。

※自動録音モードは現在選択されているメモリー番号で動作します。別のメモリー番号に変わると自動録音モードは解除されます。

オーバーダビング

ループ録音が終わった後、その録音に重ねて新しいフレーズを録音することができます。これをオーバーダビングと呼びます。新しいフレーズを録音するには **PLAY** と **DUB** の **LED** が点灯するまでフットスイッチを押します。

フットスイッチを押す度に **LED** が点灯する順序

REC -PLAY -DUB (初期設定)

この順序は下記の手順により **REC - DUB -PLAY** に変更可能です。

1. **OUT L** 端子にケーブルを繋いで、フットスイッチを押しながら本製品の電源を入れます。
2. “**r d**”、または “**r P**” が表示され、「**PATTERN**」▲▼ボタンで選択することができます。

“**r d**” : **REC - DUB -PLAY**

“**r P**” : **REC -PLAY -DUB**

※オーバーダビング録音するには残り録音時間が、録音するフレーズの時間より長くなければなりません。録音するのに十分なメモリーが無い場合、**DUB LED** が点滅します。

“**FL**” が表示された場合は、メモリー残量が不足していて、これ以上録音することができないことを示しています。

UNDO/REDO/CLEAR

フットスイッチを 2 秒間押し続けることにより次の編集操作ができます。

UNDO	オーバーダビング、または再生しながら、録音したオーバーダビングをキャンセルし、前の録音に戻る
REDO	再生しながら一度キャンセルしたオーバーダビングを元に戻る
CLEAR	まだ保存していないフレーズをクリア

※ディスプレイ右下に「.」が表示されている場合、この番号のメモリーにオーバーダビングのデータがあることを示しています。このデータを UNDO、または REDO することができます。

再生停止

再生、またはオーバーダビング中にフットスイッチをダブルプレス（1 秒以内に 2 回押す）。すると、再生を停止します。

再生停止モード

「STOP MODES」ボタンを押してからフットスイッチをダブルプレスして停止モードを選択することができます。

S t	直ぐに停止
F n	現在のループが終了したときに停止
F R	再生がフェードアウトして 10 秒以内に停止

再生中、または再生前に「STOP MODES」ボタンを押します。このボタンを押す毎に再生停止モードの表示が変わります。

F n、又は **F R** を選択すると、再生が止まるまで PLAY LED が点滅します。直ぐに止めたい場合、フットスイッチを再度押します。

ループの保存

作成したループはメモリーに 99 まで保存することができます。本製品は 4GB のメモリーを搭載し、最大録音時間は 6 時間です。

1. ループを録音した後、「SAVE」ボタンを押すと **S R** が点滅します。
2. 「PATTERN」▲▼ボタンを押して空いているメモリー番号を選択します。
3. 「SAVE」ボタンを再び押し、ループを保存します。

※録音したループを保存せずに破棄する場合は「SAVE」、「PATTERN」▲▼ボタン以外のボタンをどれか押します。

※ループを保存したとき、録音データ、停止モード、テンポ、リズムパターンが同時に保存されます。

※自動録音モードは保存されません。

※データが保存されているメモリー番号にループを保存することはできません。

ループをコピー

保存したループは他のメモリー番号にコピーすることができます。

1. コピーしたいメモリー番号を選択します。
2. 「SAVE/DELETE」ボタンを押すと選択したメモリー番号が点滅します。
3. 「PATTERN」▲▼ボタンを押して空いているメモリー番号を選択します。
4. 「SAVE/DELETE」ボタンを押して新しいメモリー番号にループを保存します。

※ループを保存するのに必要なメモリー残量が少ない場合、“**FL**”が表示されます。

ループを消去

保存したループを消去するときは、次の手順に従ってください

1. 「SAVE/DELETE」ボタンを2秒間長押しすると“**dl**”が表示されます。
2. もう一度「SAVE/DELETE」ボタンを押して表示されたメモリー番号に保存されたループを消去します。
3. 消去しない場合は「SAVE/DELETE」ボタン以外のボタンを押します。

※ループを消去すると、同時に録音データ、停止モード、テンポ、リズムも消去されます。

他のペダルを使用

CTRL IN 端子に他のペダルを接続して、演奏中に本製品をコントロールすることができます。

※アンラッチ・タイプのペダルを推奨します。

※他のペダルを本製品に接続した後、ペダルを認識するのにおよそ1秒かかります。

停止	録音、オーバーダビング、再生を停止 本製品フットスイッチを2回押すのと同じ動作
タップテンポ	本製品がループ再生していないとき、ペダルをタップしてテンポをセット
ループ消去	ペダルを長押しして、保存した全ての録音データを消去

※Y ケーブルを使用するか、デュアルタイプのフットスイッチを接続することもできます。

この際、左側のペダルは上の表のように働きます。

もう片方のペダルは下表のように PATTERN▲▼ボタンを操作することができます。

PATTERN▲	シングル・プッシュ
PATTERN▼	ダブル・プッシュ

リズムトラック

リズムトラックの再生

RHYTHM または「TAP TEMPO」ボタンを押してリズムトラックを再生します。

RHYTHM ノブを使用してリズムトラックのボリュームを調整することができます。

※初期設定では、サウンドはメトロノームに設定されています。

※リズムトラックを再生すると、TAP TEMPO ボタン LED はリズムトラックのテンポに合わせて点滅します。

ループを録音した後、リズムトラックを再生すると本製品は自動的にテンポを検出します。

リズムの選択

「RHYTHM」ボタンを2秒間長押しするとパターン番号が点滅します。

「PATTERN」▲▼ボタンを使用してパターンを選択します。

リズムトラックのテンポを設定

録音前に最初にテンポを設定します。録音中、またはオーバーダビング中にテンポを変えることもできます。

保存したループやフレーズを再生しながら、「TAP TEMPO」ボタンを押してテンポを変えることができます。

※変更したテンポは再生中のメモリー番号でのみ有効です。

拍子の設定

ループやフレーズを録音する前に拍子を設定することができます。一度録音すると、そのメモリー番号の拍子を変えることはできません。

拍子の初期設定は4/4（“**3 b**”）です。拍子を3/4（“**4 b**”）に変えるにはデータが無いメモリー番号を選択し、リズムトラックを On します。

1. ディスプレイに“**4 b**”が表示されるまで TAP TEMPO ボタンを長押しします。
2. 「PATTERN」▲▼ボタンを使用して “**4 b**” と “**3 b**” のいずれかを選択できます。

※拍子の変更は再生中のメモリー番号でのみ有効です。

リズムトラック							
01	メトロノーム	06	ブルースロック	11	ヒップホップ 2	16	ラテン
02	ハイハット	07	スイング	12	ポップ	17	ラテン 2
03	ロック	08	カントリー	13	ポップ 2	18	クラシック ロック
04	ロック 2	09	カントリー2	14	ファストロック	19	レゲエ
05	シャッフル	10	ヒップホップ	15	メタルロック	20	ダンス

コンピュータとの接続

本製品は Mac、または Windows コンピュータと接続して、フレーズのファイル（WAV 型式）をバックアップしたりダウンロードすることができます。

（WAV ファイルの仕様：16 ビット、44.1kHz ステレオ）

1. ミニ B タイプ USB ケーブルを使用して本製品とコンピュータを接続します。
2. 本製品の電源を投入します。
※本製品は USB の電源では動作しません。
3. “U5” が表示されます。

WAV ファイルのインポート

1. コンピュータが認識している USB ディスク（本製品 Removable Disk）を開きます。
2. HARTKE フォルダを開きます。
3. WAV フォルダを開きます。この下に、本製品のメモリー番号に対応したフォルダ W001～W099 があります。

サンプルファイルをロード

サンプルファイルを USB ディスクからロードして本製品にコピーします。

例：W002 から w002.wav ファイルを本製品のスロット 02 にコピー

1. メモリー番号 W002 のフォルダを開きます。
2. サンプルファイル w002.wav のファイル名を任意の名前に変えます。
3. 名前を変えたファイルを本製品のスロット 02 にコピーします。

ループ・ファイルをコンピュータにバックアップ

本製品のループ・ファイルをコンピュータにバックアップすることができます。

バックアップファイルをコピー

コンピュータのバックアップファイルを本製品にコピーすることができます。

※この操作は本製品に保存されている全フォルダを消去します。

コンピュータの HARTKE フォルダを本製品のルートディレクトリーにコピーします。

※コピー中に SAVE/DELETE ボタンが点滅します。このとき本製品の電源を切らないでください。

※本製品の内部にあるフォルダを消去しないでください。

※フォルダに 1 つ以上 WAV ファイルを保存しないでください。

※ファイル名に使用できる文字は A-Z、a-z、0-9、_ です。

電源

電池で駆動させるとき、楽器用ケーブルを OUT L 端子に差し込むと自動的に本体の電源が入ります。スピーカーや接続されている他の機器を保護するため、ケーブルを差し込む前に、楽器や機器のボリュームを下げて電源を切っておいてください。

バッテリー取り付け

バッテリー・カバーを開けて電極を取り出し、バッテリー（9V）を取り付けてからフォルダに格納し、最後にカバーを閉めます。

電源アダプター

9V 電源アダプターを DC 9V 電源端子に差し込み、AC 電源側をコンセントに差し込みます。